

第3学年 単元名 こん虫を調べよう

1 本時の実践について

(1) 本単元の目標

身の回りの生き物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録している。(知識・技能)

(2) ICT 活用場面について

【使用するアプリ】「ミライシード」

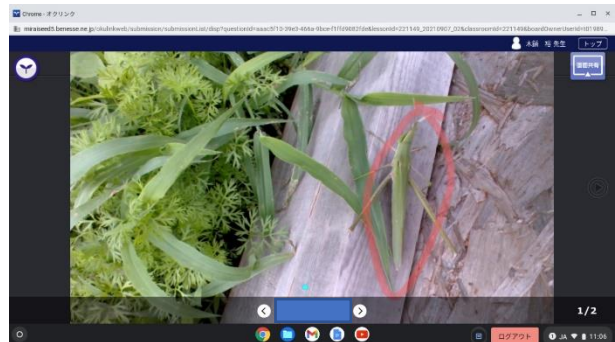
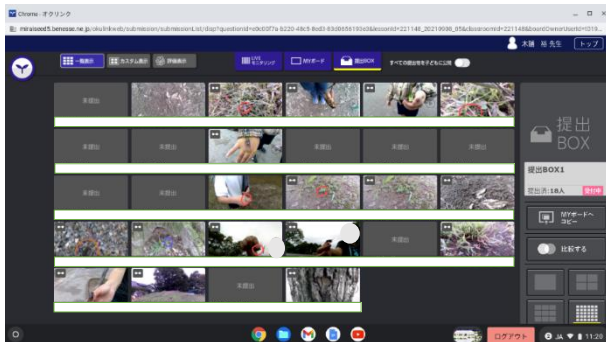
「オクリンク」「カメラ機能」

【問題】こん虫などの動物は、どんなところをすみかにしているのだろうか。

観察

①各自が校庭で見つけた昆虫の写真を撮り、共有する。

- ・「ミライシード」の「オクリンク」に、各自で撮影した写真をアップロードする。
- ・各自の写真を全体で共有しながら、昆虫などの動物がどのような場所をすみかにしているか話し合う。



からだの色とにている場所にいることが多かったよ。



バッタは草むらにることが多かったよ。バッタは草を食べるから…

【考察】こん虫は、食べ物やかくれ場所があるとところをすみかにしている。

【問題】トンボやバッタなどのからだのつくりは、どのようになっているのだろうか。

観察

①つかまえてきた昆虫の実物をみたり、写真に撮ったりして観察カードに記録する。



実物は動いてしまうけれど、写真にとるとじっくりと観察できるね！拡大もできるよ！

②昆虫のからだのつくりについてまとめる。



バッタは後ろ足がとても太くて大きいけれど、カマキリは前足が大きくて鎌みたいになっているね。

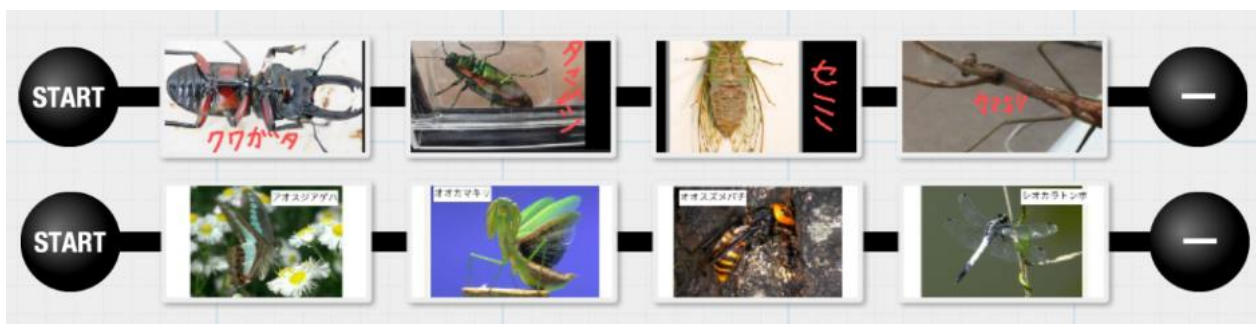


どの昆虫も足が左右に3本ずつあるね。からだもわかれているよ。

【考察】・昆虫のからだは、頭・むね・はらからできていて、むねにあしが6本ある。
・昆虫のからだの形や動き方は種類によってちがう。

【問題】こん虫のからだのつくりについて学習したことをいかして、オリジナルこん虫図かんを作ろう

①インターネット上の様々な動物の写真から昆虫の写真を見つけ出し、自分だけのオリジナル昆虫図鑑を作る。

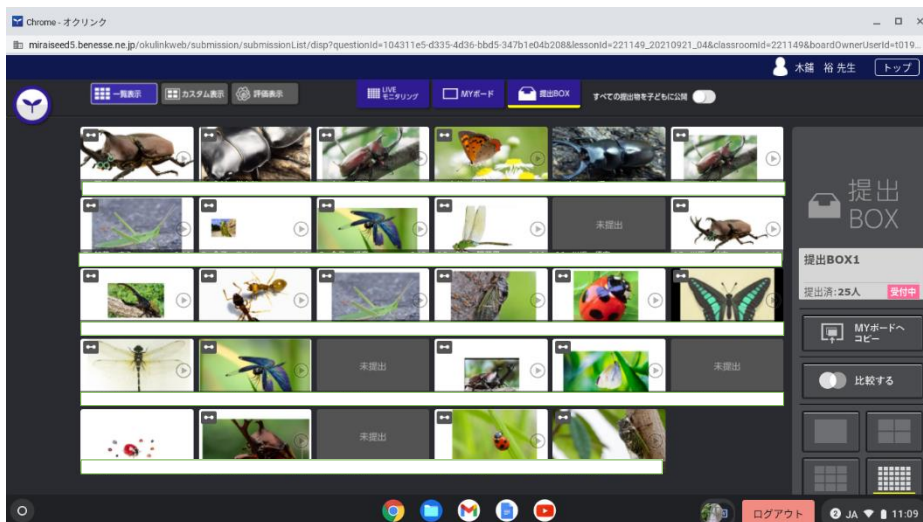


「虫」で検索するとたくさんの写真が出てくるけれど、ダンゴムシやクモはあしが6本以上あるから昆虫ではないな。



昆虫の名前もいっしょにのせておこう！

②各自で作った昆虫図鑑を見せ合う。



こんなにたくさんの昆虫がいるんだね！

自分で調べたときは名前がわからなかったけれど、〇〇さんの図鑑に書いてあったよ。

学習が終わった後も、業前の時間などを使って、自分の昆虫図鑑を作ってよいことにした。多くの児童が興味をもって取り組み、情報交換をしていた。

木の枝そっくりの昆虫や花の形そっくりの昆虫もいたよ。なんでこんな形をしているのかな？理由を調べてみたいな。



☆タブレット活用の成果と課題

(成果)

- ・インターネットで多くの情報を得ることができるため、「昆虫図鑑作り」の場面では、児童自身の力で調べ学習を進めることができた。図鑑作りを通して、生物の多様性の素晴らしさに気付く良い機会になった。
- ・各自の観察対象を写真で残しておくことができる。
 - 植物の成長記録を見返したり、影と太陽の動き方を記録したりする場面で有効。
 - 昆虫のからだのつくりについてまとめる際に、多くの昆虫のからだのつくりを比較し共通点や差異点を見つけていく場面で有効。

(課題)

- ・タブレットの操作に時間がかかる。
- ・写真を撮ったことで観察した気になってしまい、細部まで見ようとしない児童もいる。
- ・昆虫や植物など、実物を見たり触ったりする方が実感を伴った理解につながる。タブレットを使う場面については精査が必要である。